

スポーツ文化施設建設運営特別委員会

日時 令和3年6月11日（金）

午前10時

場所 第四委員会室

○ 議 題

《スポーツ振興課》

- 1 フラットアリーナの利用状況について
- 2 新井田公園テニスコート増設等工事について

《美術館》

- 3 新美術館整備事業の進捗状況について

《長根屋内スケート場》

- 4 長根屋内スケート場の利用状況について
- 5 2024 ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会の開催地について

フラットアリーナの利用状況について

1 各年度使用時間

フラットアリーナについては、令和 2 年 3 月 2 日付けで締結したフラットアリーナの賃借に関する協定書第 3 条第 1 項に基づき、令和 2 年 4 月 1 日から令和 32 年 3 月 31 日まで（30 年間）の各年度使用時間を 2,500 時間としており、その使用時間の配分等については、協定書第 3 条第 3 項に基づき、毎年度定めることとしているもの。

なお、原則として、市の使用時間については、月曜日と火曜日の午後 1 時 45 分から翌日午前 0 時 15 分まで、水曜日と木曜日の午前 5 時から午後 3 時 30 分まで、また、土日祝日のうち年間 24 日程度等としているもの。

2 令和 2 年度の利用状況

(1) 条例枠における利用状況

月	条例枠数	利用枠数	うち個人滑走枠	うち貸切滑走枠	利用率※
5	60	1	0	1	1.7%
6	169	116	74	42	68.6%
7	151	99	32	67	65.6%
8	100	85	48	37	85.0%
9	163	130	67	63	79.8%
10	132	122	55	67	92.4%
11	192	162	24	138	84.4%
12	101	89	26	63	88.1%
1	110	100	57	43	90.9%
2	143	133	83	50	93.0%
3	108	107	75	32	99.1%
合計	1,429	1,144	541	603	80.1%

※利用率 = 利用枠数 / 条例枠数

(2)うち個人滑走枠における利用状況

月	枠数	利用者数	うち 小学生以下	うち 中学生	うち 高校生	うち 一般	うち 無料滑走
5	0	0	0	0	0	0	
6	74	259	135	24	17	83	
7	32	78	31	7	7	33	
8	48	169	100	22	6	41	
9	67	519	51	6	2	30	430
10	55	118	35	31	25	27	
11	24	114	64	6	15	29	
12	26	321	191	22	12	96	
1	57	607	332	35	24	216	
2	83	461	223	28	33	177	
3	75	220	104	22	13	81	
合計	541	2,866	1,266	203	154	813	430

(3)うち貸切滑走枠における利用状況

月	枠数	利用枠数	利用率※	利用者数	観覧者数
5	60	1	1.7%	20	10
6	95	42	44.2%	1,087	285
7	119	67	56.3%	1,947	727
8	52	37	71.2%	1,016	359
9	96	63	65.6%	1,589	460
10	77	67	87.0%	1,672	509
11	168	138	82.1%	4,490	2,585
12	75	63	84.0%	2,592	644
1	53	43	81.1%	1,772	559
2	60	50	83.3%	1,875	422
3	33	32	97.0%	1,041	189
合計	888	603	67.9%	19,101	6,749

※利用率＝利用枠数/貸切利用枠数

3 令和3年度の利用状況

(1)年度使用時間

月	日	条例枠数	使用時間計
4	1、8、12—15、19—22、26—27	64	112 時間
5	10—11、17—20、24—27、31	45	78 時間 45 分
6	1—3、7—10、14—17、21—25、28—30	98	171 時間 30 分
7	1—17、19—21、23—31	154	269 時間 30 分
8	1—12、17—19、23—27、30—31	115	201 時間 15 分
9	1—3、6—22、24、27—30	153	267 時間 45 分
10	1—15、18—29	146	255 時間 30 分
11	1—2、4—18、22、24、29—30	150	262 時間 30 分
12	1—2、6—9、11—16、18—23、27—30	112	196 時間
1	3—6、11—27、31	179	313 時間 15 分
2	1—3、7—16、21—22、24、28	119	208 時間 15 分
3	1—3、7—9、14—17、22—23、28—31	94	163 時間 45 分
合計		1,429	2,500 時間

※条例枠について、1枠を1時間30分としているが、使用時間には整氷時間15分/枠が含まれる。

(2)令和3年度使用開始日 令和3年4月1日

(3)使用開始日から5月末日までの利用状況

①条例枠における利用状況

月	条例枠数	利用枠数	うち個人滑走枠	うち貸切滑走枠	利用率※
4	64	61	48	13	95.3%
5	45	45	24	21	100.0%
合計	109	106	72	34	97.2%

※利用率 = 利用枠数 / 条例枠数

②うち個人滑走枠における利用状況

月	枠数	利用者数	うち 小学生以下	うち 中学生	うち 高校生	うち 一般	うち 無料滑走
4	48	104	54	10	21	19	
5	24	57	23	2	11	21	
合計	72	161	77	12	32	40	

③うち貸切滑走枠における利用状況

月	枠数	利用枠数	利用率※	利用者数	観覧者数
4	16	13	81.3%	340	64
5	21	21	100.0%	555	120
合計	37	34	91.9%	895	184

※利用率＝利用枠数/貸切利用枠数

新井田公園テニスコート増設等工事について

1 工事の概要

新井田公園内の既設のクレイコート6面を人工クレイコートに改修するとともに、コート2面、照明設備及び管理棟を整備するもの。

2 工種及び工期

	工種	工期
(1)	増設工事	令和3年5月13日から令和4年3月25日まで
(2)	電気設備工事	令和3年度
(3)	コート改修工事	令和4年度
(4)	管理棟建築工事	令和4年度

3 契約額

- (1)増設工事 111,760,000 円
(うち消費税及び地方消費税の額 10,160,000 円)
- (2)電気設備工事 未定

4 契約者

- (1)増設工事 中当建設株式会社（八戸市大字田向字向平 12 番地 1）
- (2)電気設備工事 未定

参考：予算額

(単位：千円)

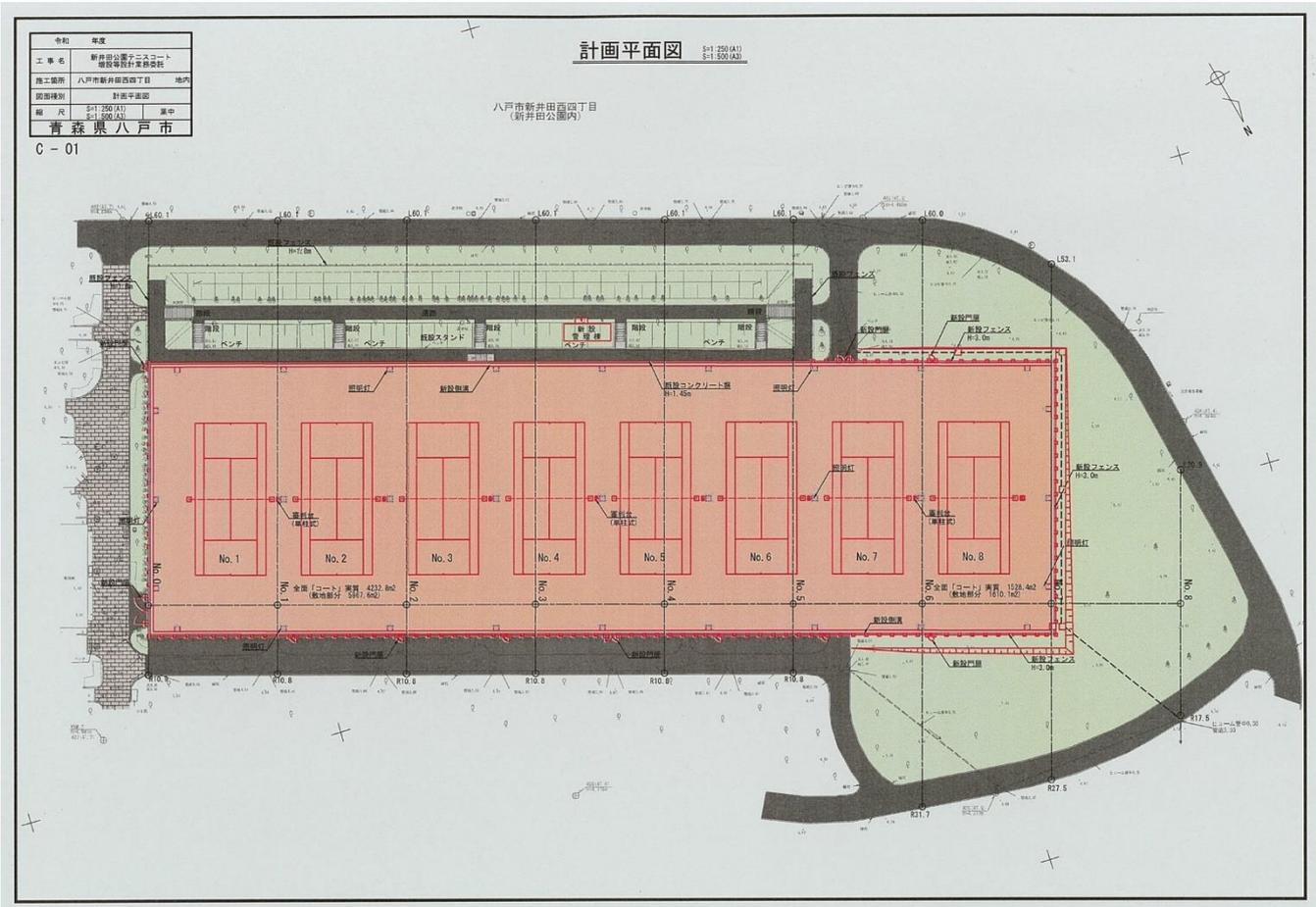
年度	事業費	財源		
		国庫 <small>(社会資本整備総合交付金)</small>	市債	一般財源
令和2年度	200,000	100,000	100,000	0
令和3年度	200,000	100,000	90,000	10,000
合計	400,000	200,000	190,000	10,000

※予算は令和2年度から4年度までの継続費

5 令和3年度スケジュール

内容 \ 月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備工											
仮設工											
施設等撤去工											
排水設備工											
敷地造成工											
施設整備工											
コート基盤工											
電気設備工											

6 工事の進捗率 0% (令和3年5月末時点)



新美術館整備事業の進捗状況について

1. 新美術館整備全体スケジュール

- ・平成28年度：基本構想策定、設計者選定、管理運営基本計画策定着手
- ・平成29年度：基本設計完了、実施設計着手、旧美術館建物解体工事
- ・平成30年度：実施設計完了、管理運営基本計画策定
- ・令和元年度：新美術館本棟建築工事着手
- ・令和2年度：旧青森銀行建物解体、新美術館建物竣工、美術館前広場整備着手
- ・令和3年度：美術館前広場完成、開館（令和3年11月予定）

2. 新美術館の運営方針

新美術館は、「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館 ～出会いと学びのアートファーム」をビジョンに掲げ、展示・調査研究・収集保存の「美術館」が担う基本的な役割に、人々が互いに刺激し合いながら感性を高め、育まれていく“共育”を担う「アートの学び」と、観光や福祉、地域コミュニティなど様々な分野を横断した総合的な文化政策を担う「アートのまちづくり」を加えた、3つの役割を融合させた美術館とする。



3. 建物の特徴

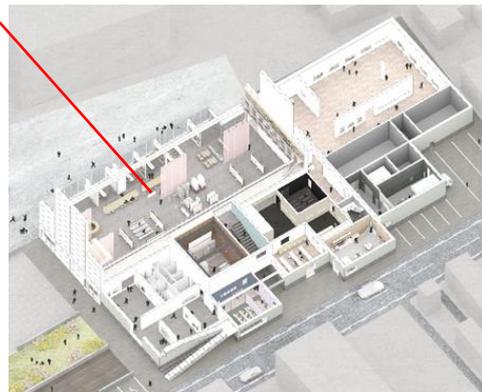
設計者選定プロポーザルで提案された「学びの拠点（ラーニングセンター）」という概念を活かし、二つの特徴的な空間により、美術館における学びの循環を実現させる。

■ ジャイアントルーム

- ・エントランスとしての役割のみならず、人々が自由に集い、学び、活動する場としての役割も担う巨大な空間

■ 専門性の高い個室群

- ・より深く学び、さらに違う専門性に偶然に出会える、それぞれに個性がある個室群をジャイアントルームの周囲に配置



4. 新美術館広場等工事について

(1) 工事概要

面積	約 3,000 m ²
工事内容	広場整備工事（インターロッキング舗装工事、植栽工事等） 電気設備工事（電灯設備工事、電熱設備工事等） 機械設備工事（屋外給水設備工事）
工期	令和3年3月～9月
工事施行者	穂積建設工業株式会社
工事費	202,400,000 円

(2) 工程（予定）

工種	令和3年						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備・仮設工事	■	■	■				
雨水排水工事			■	■			
舗装工事			■	■	■		
囲障工事			■			■	■
植栽工事						■	■
その他工事（芝ベンチ・金物等）			■	■	■	■	■
電気設備工事（電灯設備等）			■	■	■	■	
機械設備工事（屋外給水設備）				■	■		
検査・完成							■

(3) 工事の進捗率

建築工事：約 9.5% （5月末現在）

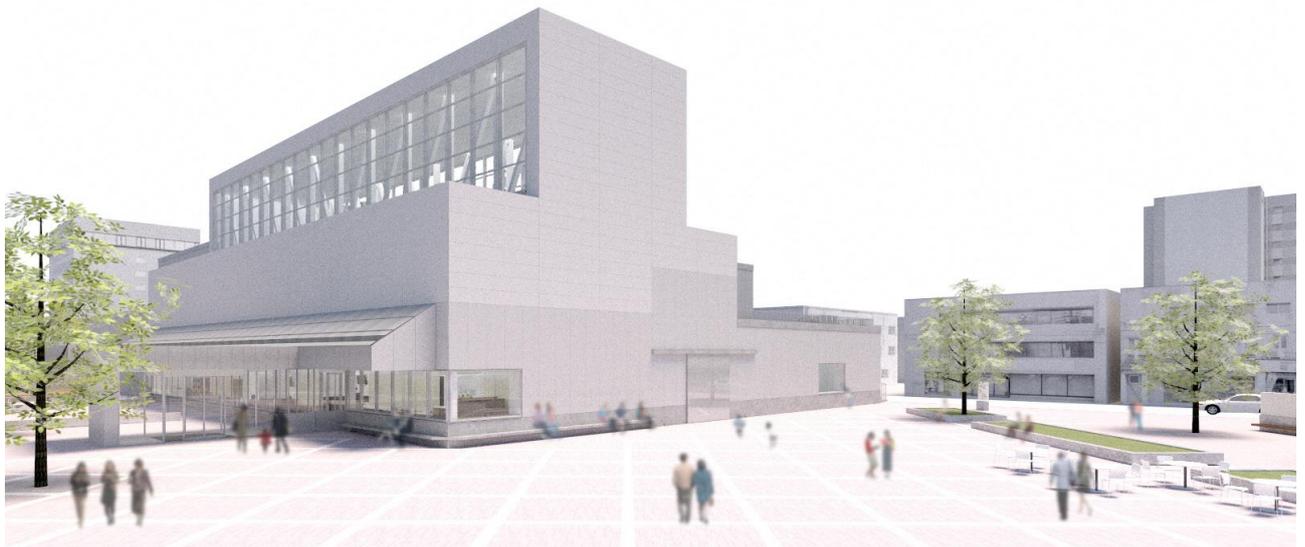
(4) 工事の現況写真



5. 今後のスケジュール（予定）

- ・ 令和3年6月～10月 備品の購入・設置
- ・ 令和3年8月～9月 開館プレ事業実施
- ・ 令和3年9月～10月 開館記念事業（展覧会・プロジェクト）の会場設営、開館準備
- ・ 令和3年11月 開館、開館記念事業実施
- ・ 令和4年2月 一般貸館利用開始

6. イメージパース



長根屋内スケート場の利用状況について

長根屋内スケート場における令和2年度の利用状況は次のとおり。

1 入場者数

131,001人

(内訳)	・スケートリンク（個人利用）	27,541人
	（学校体育）	6,447人
	・中地（人工芝コート、多目的コート）	15,931人
	・会議室	10,132人
	・トレーニング室（ランニング走路含む）	3,708人
	・その他（大会関係者、観覧者、ホワイエ利用者等）	67,242人

※ 新型コロナウイルス感染症の影響による休館（4月～5月、12月）：56日間

※ リンク個人利用に含まれるシーズン券等購入者の利用については、次のとおり算定

- ・シーズン券利用：購入者数×利用可能日数×8割利用
- ・1か月券利用：購入者数×利用可能日数（全日利用）

2 スピードスケート合宿の受入れ状況

42団体 7,569人

(内訳)	・日本スケート連盟関係者	877人
	・一般、企業	302人
	・大学生	1,978人
	・高校生以下	4,412人

3 スピードスケート競技会の開催状況

競技会の開催に当たり、青森県スケート連盟と連携し新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、観客を入れて開催した。

(新型コロナウイルス感染症対策)

- ・観客の上限を1,000名とし、ソーシャルディスタンスを確保
- ・入場の際にサーマルカメラによる検温、アルコールによる手指消毒の実施
- ・マスクの着用
- ・監督、選手と観客との動線の区分

(主な競技会の開催状況)

競技会／開催期間	出場選手数	観客数	記録
全日本選抜競技会第2戦 ／11月20日～22日	221人	1,462人	国内最高記録 ・男子10000m
全日本ジュニア選手権 ／1月9日～11日	265人	605人	日本ジュニア記録 ・男子5000m ・女子総合
長根ファイナル競技会 ／3月6、7日	311人	1,298人	国内最高記録 ・男子500m、3000m 日本中学記録 ・男子10000m

2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の開催地について

令和3年6月3日（木）に開催された国際スケート連盟の理事会において、標記国際大会の開催地が当市に内定したものの。

1 国際大会の名称

2024 ISU 世界ジュニアスピードスケート選手権大会

2 開催地（内定）

八戸市（会場：長根屋内スケート場「YSアリーナ八戸」）

3 開催日程（予定）

2024（令和6）年3月1日（金）～3月3日（日）

4 大会の概要

(1) 開催時期及び参加対象

1年に一度2月～3月頃に開催される、ジュニア世代（14歳以上19歳以下）を対象としたスピードスケートの国際大会

(2) 競 技

- ・総合得点競技 男子：500m、1500m、3000m、5000m
女子：500m、1000m、1500m、3000m
- ・距離別競技 男子：500m、1500m、3000m、5000m、マススタート
女子：500m、1000m、1500m、3000m、マススタート
- ・団体競技 チームパシュート、チームスプリント

(3) 参加者数

23～25か国から、選手130人程度。 ※役員等を含めると200人程度

(4) 国内での開催実績

- ・帯広市2回（1990年、2012年）、釧路市1回（2003年）
- ・直近では、2012（平成24）年3月に帯広市の明治北海道十勝オーバルで開催

(5) 日本人選手の活躍

平成24年と25年に、高木美帆選手が2年連続で総合優勝

5 今後の予定

開催準備に向け、日本スケート連盟をはじめとする関係機関との協議